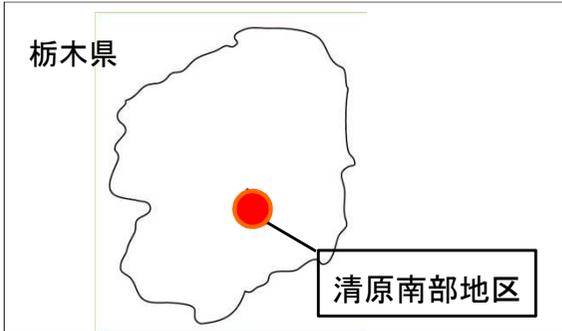


## 高収益作物による6次産業化・輸出への取組(清原南部地区)

【河内農業振興事務所 宇都宮市】

## 【取組地域の概要】

- 位置  
栃木県 宇都宮市



- 事業名 県営畑地帯総合整備事業
- 工期 H4～19年度
- 受益面積 222ha
- 主要工事 区画整理222ha
- 総事業費 2,540,000千円
- 関係土地改良区  
清原南部土地改良区
- 主要作物  
米、麦、梨、トマト、白菜、キャベツ、ネギ、トウモロコシ、大根など
- その他の支援施策
  - ・国営かんがい排水事業(S53～H7)
  - ・多面的機能支払交付金事業(H19～)

## 基盤

## パイプラインの整備によるコスト軽減と生産力の向上

県営畑総事業により区画拡大や用水のパイプライン化、自動給水栓の設置、農道の整備など営農条件が改善。

基盤整備  
(H2年～H19)

## 【整備前】

農地は区画が狭く不整形であるとともに道路は狭小・屈曲し、効率的な営農が困難な状況。



## 生産現場

## 園芸作物の生産拡大

- 水路整備により栽培に適したかん水が可能となり、梨やトマトなどの品質・収量が向上。
- 大区画化によって経営規模が拡大し、キャベツやネギなどの露地野菜が新たに導入。



## 地域の取組

## 障がい者施設との連携(農福連携)

- 新たに導入した露地野菜などのための労働力を確保するため、地区内の障がい者施設と連携。
- 障がい者の心身リハビリ効果や就労訓練の場を提供。(約10名雇用)



## 加工・流通

## 高付加価値化への取組(6次産業・輸出)

- コスト削減による余剰労働力を活用し梨を原料としたジュースやドライフルーツなどの商品開発・加工に取組。
- かん水施設によって、梨の新品種「にっこり」の生産が安定。平成17年度からマレーシアや香港などこれまでに11ヶ国への輸出に取組。



## 6次産業化と輸出による産地収益力の向上

- 消費者のニーズに合わせ、梨の多品種生産によって販売期間を拡大し生産額が増加。
- ジュースやドライフルーツなどの2次製品の加工・販売により所得が大幅に向上。
- 若手農業者や商工業者が連携して、地元農産物のピクルスを商品開発。直売所などの販売によって所得が向上。

